

平成29年度 学校経営評価（考察）【保護者編】

本校の教育活動に対して、昨年度よりポイントを上げた項目が11、ポイントが同じ項目が4、ポイントを下げた項目が14という評価となりました。全ての項目で高い評価（80%以上）をいただき、保護者の皆さまにはご理解をいただいていると推察しておりますが、一方で下がった項目も少なくありませんでした。より一層の改善・向上に取り組んでまいります。

以下、評価内容について特徴ある項目に対して回答・報告いたします。

【教育目標】

- 「教育目標や教育方針がわかりやすく伝えられている」「教育目標達成のために、生徒の状況をよく把握して学校経営を行っている」の項目は、昨年度と比べそれぞれ3ポイント、2ポイントと上昇しました。今後も、教育目標や教育方針をアピールしつつ、生徒との関わりの中で個々を理解・支援しながら教育目標達成に向け取り組んでまいります。

【教育目標具現化】

- 「学校で、家庭学習の習慣が付くような取り組みができている」は4ポイント上昇、「家庭で、家庭学習の習慣が付くような取り組みをとっている」が、2ポイント上昇、さらには「定期テストや実力テストに向かってしっかり取り組んでいる」が、5ポイント上昇しました。学校と家庭の双方で学習を習慣化させることは、学力向上に直接結びつくだけでなく、生涯に渡って学び続けようとする姿勢を身に着けることにもなり、中学生の今がその重要な時期です。ご家庭でのご指導に感謝いたします。
- 前述のとおり、学習習慣が身に付き、テストに向けてよく取り組んでいる傾向が見られる一方、「進路や将来の生き方について指導している」が、3ポイント下がってしまいました。本校では教育課程の中で、「職業人に聞く」「職場体験」「職業・高校調べ」等の進路学習に取り組んでいるところではありますが、中学生時代の教科学習が直接、将来の夢や進路の実現に結びついていることをさらに意識できるよう取り組んでまいります。
- 「必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている」は、1ポイント下げてしまいました。下がり幅は小さいものの、昨年度6ポイント下げたことを考えると、今後の一層の改善が必要だと考えます。ここ数年、インターネット出願等、出願方法等も多様化しており、不安を感じている方もいらっしゃると思います。受験に関する情報につきましては、進路説明会や進路通信等でお伝えしてまいります。生徒個々により受験形態も異なりますので、不明な点につきましては、担任や進路指導主事に確認・相談頂ければ、迅速に対応させていただきます。一方、子どもたちに対しては、学校で情報収集等のやり方も指導しております。受験を通して、子どもたちの情報処理能力を高め、自立心を育むことも意図して指導してまいります。
- 「相手の立場を考えて行動する等、豊かな心を育む指導をしている」が2ポイント上昇しました。子どもたちは様々な人間関係の中で学校生活を過ごしており、その過程で行き違いや衝突も起こります。それを成長のチャンスととらえ、指導してまいります。

【学校行事等】

- 「授業参観週間や授業参観日・保護者会等の時期が適切である」が、3ポイント下がりました。お忙しい中で時間を作ってください、学校に足を運んでくださっていることを大変有難く思っております。学校の1年間のスケジュールは過密であり、全ての保護者の方々が参加しやすい日程の設定は難しいかもしれませんが、今後もより良い形を検討してまいります。

【生徒指導】

- この項目については、全て90%以上の高評価を頂いているものの、項目全体としては、1～2ポイント下げてしまいました。今後さらに、生徒一人ひとりを大切に、時には厳しく時には生徒に寄り添いながら、健全な成長を支援してまいります。また、ご家庭から見て子どもたちの様子で気になること、気づいたことなどがあり

ましたら、すぐにご相談頂くなど、学校と家庭が連携することが最も有効で力強い生徒指導に繋がると考えます。ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

〔家庭・地域との連携〕

- この項目についても、高評価ながら1ポイントずつ下がっています。ホームページやお便り等で、より一層の情報発信に努めるとともに、相談しやすい・来校しやすい「開かれた学校」を目指し、保護者・地域の皆さまとの信頼関係・協力体制を築いてまいります。

〔特別支援教育〕

- 昨年度から設けた「特別支援教育」の項目です。いずれもポイントが大幅に上昇しました。特に「障害者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている」は、6ポイント上昇しました。保護者の皆様をはじめ、市や県、国全体の意識の高まりとの相乗効果もあったと考えます。一方、F「判断がつかない（または無回答）」との回答も多く、今後さらに、特別支援教育の取組をより充実させるとともに、情報発信していく必要性を感じました。保護者の皆様におかれましても、特別支援教育につきましても、ご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願ひいたします。

〔ご意見・ご要望の中から〕

- 生徒・学校生活に関すること

「生徒が挨拶しない」「登下校時の様子が良くない。交通事故等心配」とのご意見を頂きました。生徒の校外での様子は、教職員の目が行き届かないところでもありますので、このように情報提供頂けることを大変有難く思っております。今後とも、生徒の様子でお気づきの点などございましたら、すぐにお知らせください。迅速に対応してまいります。生徒指導・安全指導は「すぐの対応」が効果を高めます。また、このように学校・家庭・地域が連携して子どもたちの健全育成に取り組む一つの形になります。

- 行事等に関すること

「授業参観の土曜日実施」「行事の実施時間・実施日設定の変更」などのご要望を頂きました。子どもたちの様子、学校の様子を参観したい、というお気持ちからのご要望ですので、大変有難いと思っております。本校といたしましても、より多くの保護者や地域の皆様に、子どもたちの日頃の様子を見て頂きたい、という願ひでおります。中学校においては、部活動の大会等が土日にあるため、授業参観の土曜日実施は難しいところではありますが、今後も可能かどうか検討してまいります。

毎年、行事の時期や実施方法については、最も効果的に行えるよう調整を図っているとあります。今後、「今できるベストの形」で調整をしてまいります。ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

- 教職員に関すること

教師の言動や指導の在り方等について、ご意見ご指摘を頂きました。このことを真摯に受け止め職員会議でも取り上げました。教職員が、改めて自らを省みる良い機会となりました。改善に努めてまいります。

また、学習評価の公平性についても、ご指摘を頂きました。本校では、客観的な方法と判断資料をもとに学習評価を行っているところですが、よりわかりやすく誰もが納得のいく形になるよう改善していきます。今後、評価についての疑問等ありましたら、教科担任にお問ひ合わせいただければ、説明させていただきます。

- その他

感謝の言葉、激励の言葉も複数いただきました。大変有難く思います。その他、頂いたご意見やご指摘については、職員会議で取り上げ再確認し、可能な限り、対応させていただきます。その他検討などが必要なものについては協議し、今後の教育活動に生かしてまいります。

ご協力ありがとうございました。

平成29年度 学校経営評価（考察）【生徒編】

生徒用アンケート結果では、昨年度に比べ12項目上昇し、6項目は同じで、ポイントを下げたのは12項目でした。保護者アンケート結果と同様に、全体としてはほぼ90%以上の評価で、良い状況にあると考えられますが、ポイントを下げた項目については、原因を分析し、対処していく必要性を感じております。

【学習について】

- 「授業は理解できている」「先生方は授業を工夫するなど熱心である」はそれぞれ1～2ポイントずつ下げてしまいました。この事実を真摯に受け止め、今後も全ての子どもたちが理解できる授業を展開するためにも、教員研修を重ね、より丁寧で分かりやすい授業を心がけてまいります。
- 「校内テストに向けては計画を立て、しっかりと取り組んでいる」が2ポイント上昇しました。これは「保護者アンケート」の中の「学校で、家庭学習の習慣が付くような取り組みができています」「家庭で、家庭学習の習慣が付くような取り組みをとっている」「定期テストや実力テストに向かってしっかりと取り組んでいる」項目のポイントの上昇とも合致しています。本人の努力はもちろんのこと、ご家庭の協力があるからこそその結果です。また、学校全体の自主学習への意識を高めようと、子どもたち自身が発案した取り組み（学習委員会による「長時間自主学習に取り組んだ生徒の表彰」等）も、特筆すべきことと考えます。

【学校生活について】

- 「学校生活は楽しい」は、2ポイント下げてしまいました。学校生活が楽しい前提として、良好な人間関係があると思います。生徒一人ひとりの様子や変化に常に気を配り、日常生活や行事を通して、互いに認め合い、支え合い、切磋琢磨して向上していけるような人間関係作りを支援してまいります。
- 「進路の情報や指導は十分に行われている」は、3ポイント上昇しました。学校から生徒に対して情報発信をすると同時に、情報収集・情報選択・自己決定等の技能を身に付けられるよう指導しております。そのような技能が身に付くことが、今後の自分自身の進路開拓には欠かせないと考えます。
- 「施設や設備は、生活がしやすいように整備されている」は、2ポイント上昇しました。本校も築40年以上が経過しており、多くの箇所では不具合や破損が出てきています。適宜、修繕を行っていますが、同時に「生活がしやすいよう整備されている」と生徒が感じるのは、日頃の生徒自身による清掃や物を大切に扱う気持ちこそが、一番大きな要因です。

【豊かな心・健やかな体の育成について】

- 殆どの項目で高い割合を示しています。特に「友だちに親切にしている」が、昨年度に引き続き100%でした。優しさや親切心は、学校という集団生活だけでなく、社会にいきる人として、何よりも大切なものであり、この結果を大変うれしく思います。
- 「ごみを拾ったり、清掃を熱心に行ったりしている」は4ポイント下がりました。日頃の子どもの様子を見ていても、決して例年より掃除への取り組みが疎かになっている、とは感じられませんが、本校では、清掃活動や環境整備（ごみを見つけたら拾う等）に力をいれて指導しております。その分、生徒自身が自分に課した課題のハードルが高いのだと推測できます。自分に厳しい評価の結果が今回のポイントの下降に繋がったと考えます。

生徒や保護者の皆様、我々教職員にとって学校とは、「生活していて楽しく、安全で安心な場」でなければなりません。また、学校は学力を伸ばすところであり、社会性を身につけ、実践する場でもあります。

生徒・保護者・教職員の共通の願いを実現するために、皆が優しい気持ちで、仲間と協力して活動し、行事に燃え、歌声が響き、気持ちの良いあいさつができる臼井中学校を創っていきたいと思います。